



株式会社 横河ブリッジ



Bridge your NEEDS

橋の横河だから、
できる簡易組立橋梁があります。

PABRIS®
P A N E L B R I D G E S Y S T E M

設計、施工計画、開発まで、トータルにご提案。「橋」を熟知した 横河の簡易組立橋梁「PABRIS®」。

Advantage

さまざまなご要望にお応えする「実績」と「解決力」の「PABRIS®」。

橋梁のスペシャリスト、横河の「PABRIS®」。そこには永年の実績から生まれた独自の桁連結方式や締結式覆工板Yデッキなど、高い機能性、経済性を実現した技術が凝縮されています。もちろん、ご要望にお応えする対応力、迅速なフットワークも「PABRIS®」ならではの。横河は仮橋に関するあらゆるご相談、ご要望に確かな解決力でお応えします。



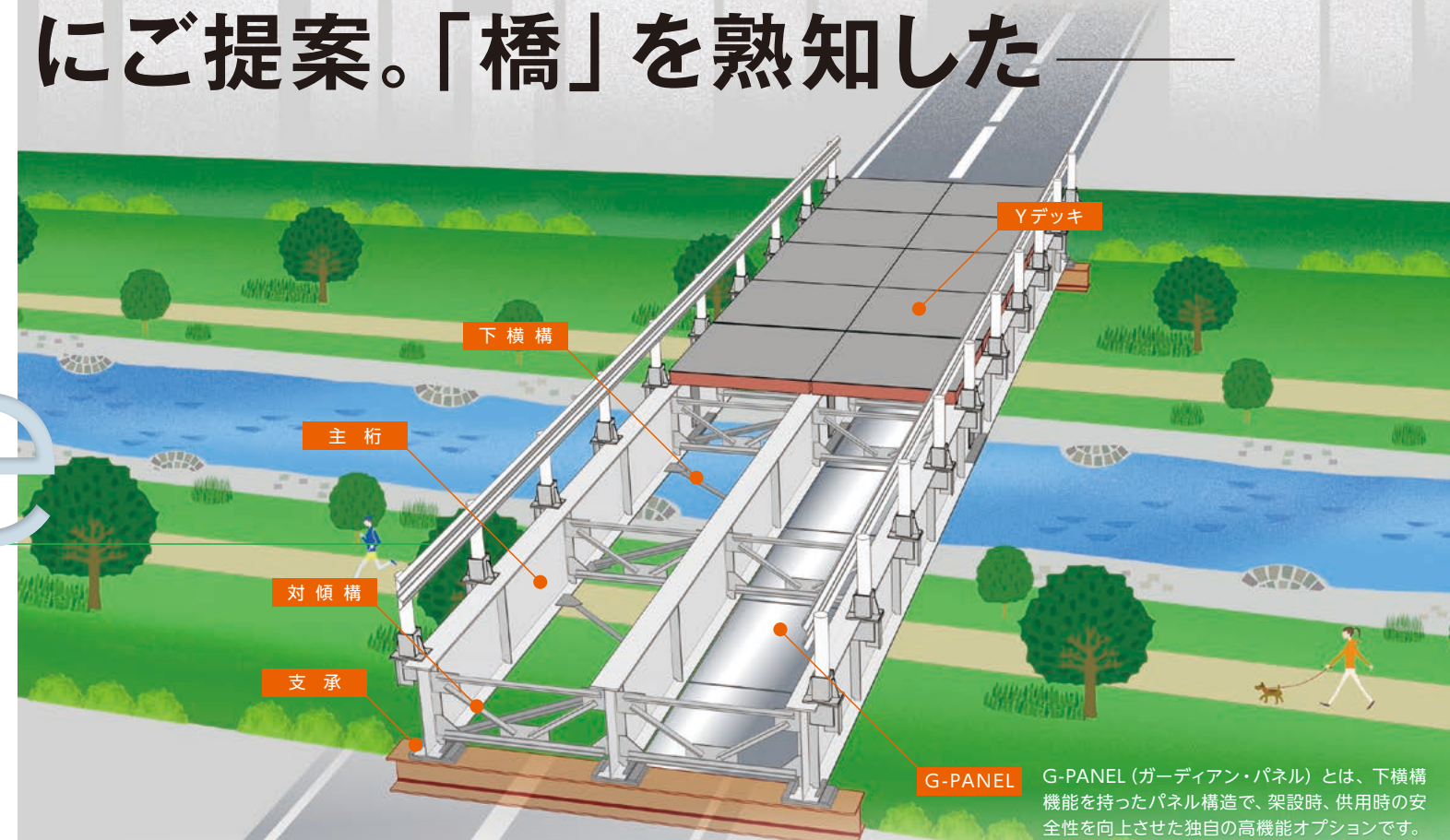
上部工はもちろん、下部工までワンパッケージで対応。

「仮橋を選定する際は、下部工から上部工までトータルに対応できる会社に任せたい」。この声にお応えしたのが、重仮設大手ジェコス株式会社との協力関係の構築です。これにより「PABRIS®」は上部工はもちろん、下部工までワンパッケージでのご提供を実現。仮橋選定の際に、より合理的な選択肢をご提供します。



多くの制約を持つ案件に、高い安全性を提供する「PABRIS®」。

道路上、鉄道上、災害復旧、軟弱な地盤など、多くの制約がある条件下では、架橋に迅速性と同時に、極めて高い安全性が求められます。こうした困難な案件を得意とするのも横河ならではの。下横構機能を持ったパネル構造により架設時、供用時の安全性を向上させたG-PANEL（ガーディアン・パネル）など、「PABRIS®」にはさまざまな制約をクリアする独自の技術が凝縮されています。



さまざまな用途で発揮される柔軟な対応力。

仮橋としての高い機能性、経済性に加え、さまざまなニーズにお応えする柔軟な対応力も「PABRIS®」ならではの。横河の簡易組立橋梁「PABRIS®」は、すでに多くの用途で高いポテンシャルを実証しています。



橋梁架け替え用の迂回路として



工事用道路の仮橋として



災害時の応急橋として



重機作業用の仮橋として



歩道用の仮橋として

機能性、施工性、経済性を実現した「PABRIS®」。

軽量

主桁にSM490Y材を使用したことによる軽量化に加え、Yデッキは鋼床版形式をベースにしたことで161kg/m²の業界最軽量を実現。これにより、桁リース費、下部工費用の低減を可能にします。

短期施工

上フランジに添接板を使用しない独自の桁連結方式（圧縮フランジの面タッチ仕様）で、短期施工を実現。撤去時に取り外し可能なトルシアボルト「六角トルコンボルト」と共に、迅速な施工を実現します。

低騒音

Yデッキを高力ボルトで主桁に直接締結することで、車両通行時の騒音を大きく抑制。これまでの覆工板では得られなかった低騒音化を実現しました。

多彩な用途対応力

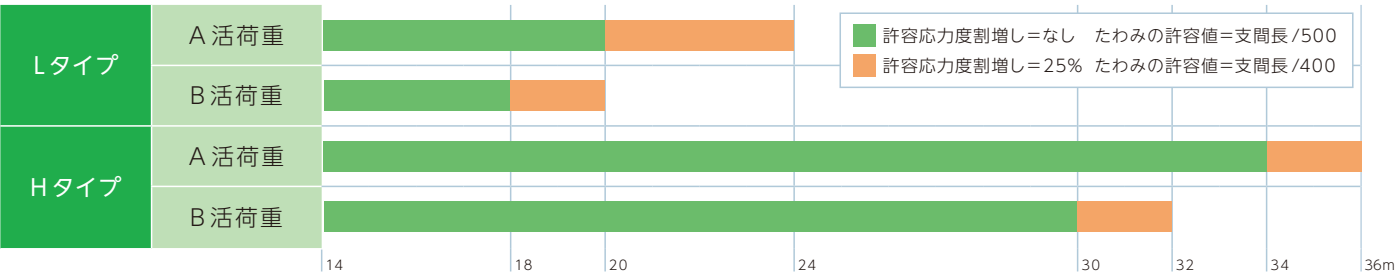
「PABRIS®」は、車道、歩道はもちろん、特殊荷重重機用の仮橋としても十分にその実力を発揮。桁長は14mから2mピッチで最大36m。幅員は2mピッチで無制限に対応します。

主要諸元

	Lタイプ	Hタイプ
構造	上路式単純鈑桁 (A、B活荷重対応)	同左
支点部桁高	1,049mm	1,495mm
桁長*	14m～24m	14m～36m
幅員	2m～∞	同左

桁長、幅員共に2mピッチで対応。
*両側の桁端長250mmを含みます。

適用範囲



部材の組み合わせ

桁長	部材の組み合わせ	桁長	部材の組み合わせ
14m	7m 7m	26m	7m 10m 9m
16m	7m 9m	28m	9m 10m 9m
18m	9m 9m	30m	9m 10m 11m
20m	9m 11m	32m	11m 10m 11m
22m	11m 11m	34m	7m 10m 10m 7m
24m	7m 10m 7m	36m	7m 10m 10m 9m

「PABRIS®」に
安全性をプラスする
高機能オプション
G-PANEL。

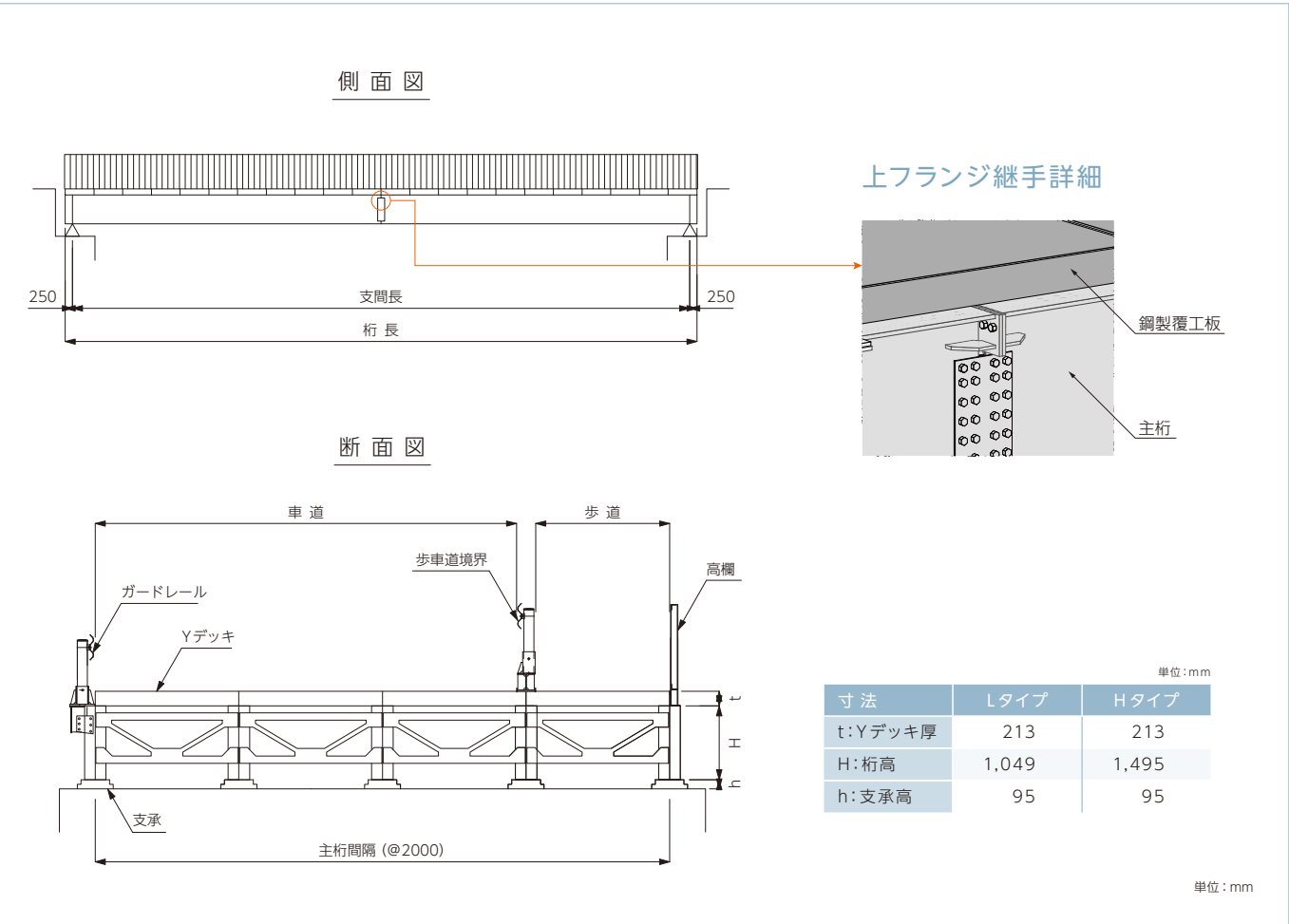


仮橋に求められる高い安全性。これに応えたのが下横構、足場、落下物防止板、点検通路の機能を兼ね備えた「PABRIS®」専用の高機能オプション、G-PANEL (ガーディアン・パネル) です。落下物防止対策が必要な跨線部、跨道部の仮橋として、ぜひご検討ください。

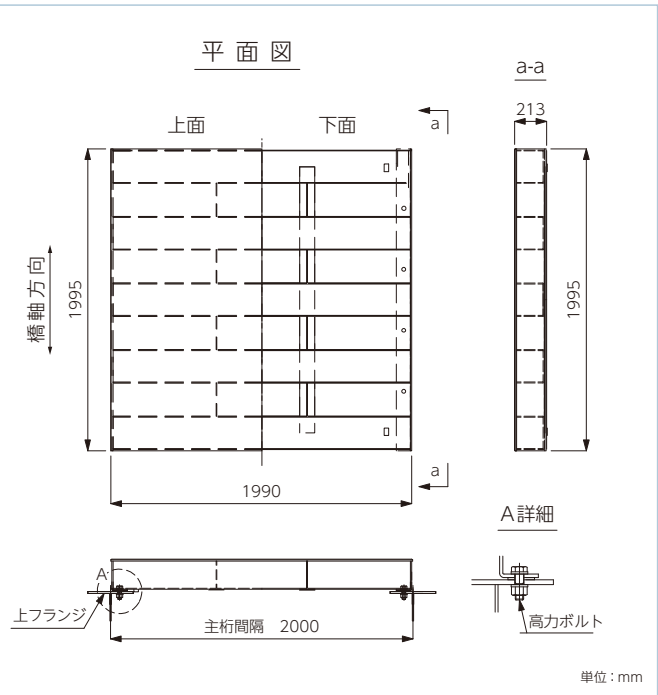
・特許第5409955号

Guardian PANEL

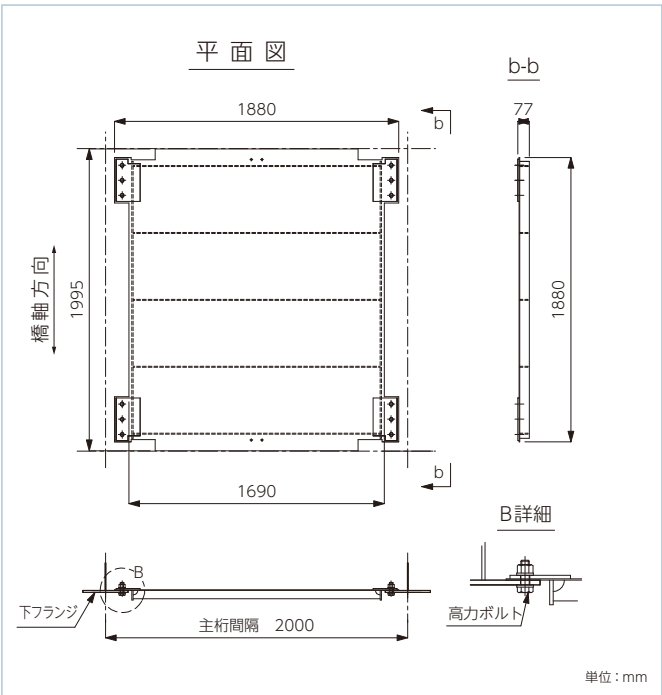
「PABRIS®」標準図



Yデッキ (横河式覆工板)



G-PANEL (ガーディアン・パネル)



Case 1

水口橋仮橋



野洲川に架かる県道水口甲南線水口橋の架替のための迂回路として「PABRIS®」が採用されました。騒音対策として、高力ボルトで主桁に直接締結する横河式覆工板Yデッキの橋面に舗装を施す仕様としました。

DATA	用途	迂回路用仮橋
	橋長×幅員	246m×4m
	発注者	滋賀県
	施工地	滋賀県甲賀市

Case 2

沙流川橋工事用仮橋



日高自動車道(国道235号)沙流川橋建設のための工事用仮橋として「PABRIS®」が採用されました。斜路部2スパンの桁が沙流川のH.W.L(計画高水位)を侵すため、水位上昇時に桁を吊り上げ可能な設備を設置しました。

DATA	用途	工事用仮橋
	橋長×幅員	148m×8～10m
	発注者	北海道開発局 室蘭開発建設部
	施工地	北海道沙流郡日高町

Case 5

里上青木線橋梁工事用仮栈橋



市道里上青木線の芝川に架かる新設橋梁の上部工、下部工設置工事のために使用する重機(150tクローラークレーンおよび杭打ち機)の作業用仮栈橋として、よりいっそうの堅牢性を実現した「PABRIS®」が採用されました。

DATA	用途	工事用仮栈橋
	橋長×幅員	上部工用仮栈橋44m×8m、下部工用仮栈橋14m×20m
	発注者	川口市
	施工地	埼玉県川口市

Case 6

スポーツ祭2013歩道用仮橋



「スポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会)」のメイン会場として使用されたスタジアムと、駐車場を結ぶ歩道用仮橋として「PABRIS®」が採用されました。

DATA	用途	歩道用仮橋
	橋長×幅員	20m×4m
	発注者	東京都
	施工地	東京都調布市

Case 3

二十一浜橋仮橋



東日本大震災の津波によって国道45号線二十一浜橋の起点、終点の盛土部分が洗掘されて通行止めとなりました。ライフラインを速やかに確保するため、短期間で施工が可能な「PABRIS®」が応急橋として採用されました。

DATA	用途	災害時応急橋(道路橋)
	橋長×幅員	30m×6m 2橋
	発注者	東北地方整備局 仙台河川国道事務所
	施工地	宮城県気仙沼市

Case 4

松川橋仮橋



集中豪雨による増水で松川橋の中央径間の橋脚、桁が傾き通行不能になりました。両岸の側径間の橋梁は上下部工とも健全で通行可能なことから、中央径間部のコの字型の迂回路に「PABRIS®」が採用され、早期に通行可能にすることができました。

DATA	用途	災害時応急橋(道路橋)
	橋長×幅員	112m×4～16m
	発注者	新潟県六日町土木事務所
	施工地	新潟県南魚沼郡湯沢町

Case 7

朝明川(あさけがわ)橋梁仮橋



大雨による異常出水で橋脚が洗掘を受けて桁が傾き、既設桁支承部が破損したため一部区間が不通となりました。一刻も早い復旧のため、応急復旧用の仮桁として改造した「PABRIS®」が採用され、工期を大幅に短縮することができました。

DATA	用途	災害時応急橋(鉄道橋)
	橋長×幅員	27m×2m
	発注者	三岐鉄道株式会社
	施工地	三重県四日市市

Case 8

新馬込橋仮構台、歩道用仮橋



環状7号線を跨ぐ新馬込橋架替工事の際、旧橋撤去や新橋地組用の施工ヤードを確保する仮構台に「PABRIS®」が採用されました。また、工事期間中の歩行者の通行を確保する歩道用仮橋にも採用されました。

DATA	用途	仮構台、歩道用仮橋
	橋長×幅員	仮構台28m×6m、歩道用仮橋22m×2m
	発注者	大田区
	施工地	東京都大田区

仮橋検討支援 Web サービス「ファースト・プランナー」

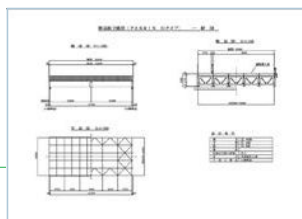
1st PLANNER www.yokogawa-koji.co.jp/pabris



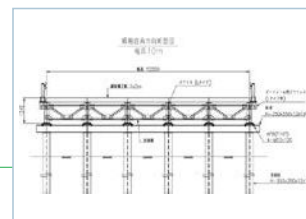
仮橋検討のサポートツールを Web 上でご利用いただけます。

橋長、幅員、荷重などを入力するだけで、簡単に数量、概算工費、上部工反力の試算結果と一般図を入手できます。ご検討の際に、ぜひご利用ください。

試算結果シート



一般図 上部工



一般図 下部工



株式会社 横河ブリッジ

<http://www.yokogawa-bridge.co.jp/>

〒273-0026 千葉県船橋市山野町27 横河テクノビル
TEL. 047-435-6229



株式会社 横河住金ブリッジ

<http://www.ysbc.co.jp/>

〒314-0255 茨城県神栖市砂山16番地5
TEL. 0479-46-6688



株式会社 榑崎製作所

<http://www.narasaki-ss.co.jp/>

〒050-8570 北海道室蘭市崎守町385
TEL. 0143-59-3611

お問い合わせ先

